

平成 28 年 8 月 2 日

記者発表

和歌山県の取組が経済産業省の「IoT 推進ラボ」に選定！！

～経営強化のための IoT・IT セミナーの開催～

和歌山県の取り組みが経済産業省の「地方版 IoT 推進ラボ」に選定されました。和歌山県では、①IoT に関する知見の共有。②デジタルものづくりの推進。③県内の IoT システム提供事業者の振興を 3 つのテーマとして、県内事業者の IoT リテラシーの向上を目的に、様々な支援を行っていきます。（詳細は別紙参照）

その第一弾の取り組みとして、下記のとおり、「経営強化のための IoT・IT セミナー」を開催いたします。

IoT とはなに？ 自社に関係があるの？ そのような疑問をお持ちの県内事業者の皆様、ぜひ、この機会にご参加下さい。

◆経営強化のための IoT・IT セミナー

○日 時

平成 28 年 9 月 6 日（火） 13:30～16:00

○場 所

和歌山県民文化会館 5 階 大会議室

○次 第

◇開会挨拶（知事 仁坂 吉伸）

◇基調講演

富士通(株) 吉田 洋 IoT ビジネス推進室 マネージャー

(株)早和果樹園 秋竹新吾 代表取締役社長

◇パネリストディスカッション

ファシリテーター：和歌山大学システム工学部デザイン情報学科 鯉坂 恒夫 教授

パネラー（講演者）：富士通(株) 吉田 洋 IoT ビジネス推進室 マネージャー

パネラー（講演者）：(株)早和果樹園 秋竹 新吾 代表取締役社長

パネラー：近畿経済産業局情報政策課 石原 康行 課長

パネラー：(株)宮崎エンジニアリング 廣崎 清司 代表取締役社長

◇閉会挨拶（国の経済対策の紹介も含めて）

○定 員

80 名程 参加費無料

○主 催

和歌山県、公益財団法人わかやま産業振興財団

○後 援（予定）

一般社団法人和歌山情報サービス産業協会、近畿経済産業局、国立大学法人和歌山大学、特定非営利法人和歌山 IT 教育機構

※上記セミナーについては、厚生労働省「戦略産業雇用創造プロジェクト」にて実施。

※地方版 IoT 推進ラボとは

地域における IoT プロジェクト創出のための先進的な取組を、「地方版 IoT 推進ラボ」として経済産業省が選定するもの。なお、選定されると、地域のプロジェクト・企業等の実現・発展に資する専門家の派遣等の支援が得られる。（今回、全国で 29 件の取組を選定）

担当課	産業技術政策課
担当者	富松・高井
電話番号	073-441-2355

和歌山県IoT推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

- 参加プレイヤーの構成団体が中心となり、①県内企業のニーズ顕在化、②企業内人材の育成、③IoTシステム提供事業者の振興を行うことで、県全体のIoTリテラシーの向上を目指す。

重要業績評価指標（KPI）

- 右記セミナー（年2回開催、100社参加見込）・講習会（年2回開催、20社参加見込）を繰り返すことで、参加企業を中心に、平成31年度までに30社のIoTシステムの導入（生産性向上が見込まれる新規設備投資）を達成します。

今後の展開

- IT/IoTセミナーの開催や専門コーディネーターの配置・活動を通じて、想定ターゲットである県内の農業事業者、複数の工場を有する素材製造事業者のIoT導入を推進し、同時に県補助事業などを通じてIoTシステムを提供できる県内ソフトウェア事業者の振興を図る。

事務局

- 和歌山県
参加プレイヤー

- 和歌山県工業技術センター
- 公益財団法人わかやま産業振興財団
- 国立大学法人和歌山大学
- 特定非営利活動法人和歌山 I T 教育機構
- 一般社団法人和歌山情報サービス産業協会（県内ソフトウェア事業者含む民間企業70社で構成）等

事業イメージ

和歌山県 I o T 推進ラボ

①IoTに関する知見の共有（県内企業のニーズ顕在化）

- IT/IoTセミナーを開催（9月開催予定）
→実際にIoT導入に前向きな企業層の顕在化。
- IT/IoTコーディネーターの配置（公益財団法人わかやま産業振興財団に）。
→潜在的な企業ニーズの掘り起こし。

②デジタルものづくりの推進（企業内人材の育成）

- 構成団体である和歌山県工業技術センターにおいて、3Dプリンター・CAD講習会の開催（全13日の予定）
→IoTと親和性の高い「デジタルものづくり」に対応できる人材を企業内に育成。



平成27年度 講習会風景

③県内のIoTシステム提供事業者の振興

- 県内企業の新製品開発に必要な資金の補助（3年間で最大2,000万円）を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を平成22年度から実施。今年度からは支援対象分野として「IT・ソフトウェア・通信技術分野」を追加。
→県内ソフトウェア事業者のIoT導入支援能力の向上。

IoTリテラシーの向上